

J O C S 祈りの花束

2020年4月

今月のことば: 狭い隙間を通り抜けるようにして魂に浸透する真理の光によって、魂のすべては広げられていくのです。

(大グレゴリウス 六世紀)

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1 新入職員のため (本日、入局)	2 自閉症についての理解 が深まるように (本日、世界自閉症啓 発デー*1)	3 四国高知 JOCS のた め(明日、委員会開 催)	4 理事に相応しい方々が 選出されるため(本日、 選挙管理委員会開催)
5 すべての難民と彼らの ために働く医療従事者 のため (本日より受難週)	6 新型コロナウイルスに 感染された方々、そし て対応に関わるすべて の医療保健従事者の ため	7 健康であるために必要 なもの、公平にすべ ての人に提供されるよ うに(本日、世界保健 デー*2)	8 JOCS の財務のため (明日、会計監査)	9 すべての人の心と身体 に必要な糧が与えられ ますように(本日、主の 晩餐の日)	10 岩本直美さんのため (バングラデシュ・本 日お誕生日)	11 京都 JOCS のため
12 暗闇に光をもたらす者 になりますように(本日、 イースター・復活日)	14 雨宮春子さんのため (タンザニア)	14 会員・支援者の増強の ため	15 6月に開催される定時 社員総会と「創立 60 周 年感謝の祈り」のため	16 JOCS の奨学生のため (特にケニアの奨学生 のため。現在 1 名)	17 使用済み切手収集活 動のため	18 シロアムプロジェクト(協 働プロジェクト)のため (ケニア)
19 JOCS の支援者のため (特に長崎県の会員の ため。10 名)	20 関西地区活動委員会 のため	21 ママ・ナ・ムトプロジェ クト(協働プロジェクト) のため(タンザニア)	22 地球環境の保全のた め。環境破壊によって 健康が損なわれている 人々のため(本日、世界 アースデー*3)	23 ネパールの地震被災者 と復興に関わる人々と のため(明後日、ネパー ル大地震から 5 年)	24 関西事務局のため	25 理事会のため(本日、定 例理事会開催) JOCS の監事のため (本日、監事監査)
26 事務局スタッフのため	27 ボランティアの方々の ため	28 新しいワーカーが与え られるように	29 ワーカーの安全のた め。バングラデシュとタ ンザニアの治安のため	30 ワーカーの御家族のた め。特にその健康が守 られるように		

- * 1: 自閉症についての正しい理解を広めることを目的として、国連によって定められた国際デー。World Autism Awareness Day
- * 2: 世界保健機関(WHO)が 1949 年に制定した国際デー。WHO は 1946 年のこの日に、すべての人々がそれぞれの環境の中
で可能な最高の健康水準に到達することを目的として、世界保健機関憲章によって設立された。World Health Day
- * 3: 米国の市民運動として始められ、現在は世界各地で環境問題をテーマにした催しが企画される。World Earth Day

祈りの項目:

事務局より 新型コロナウイルスの感染拡大の早期収束のため



みことばの黙想

2020年 4月

これらの短いみことばは、フランスにある超教派男子修道共同体テゼの昼の祈りから取られたものです。

聖書本文は、原則として『聖書 新共同訳』日本聖書協会発行をもとにしています。

1日（水）1 ヨハネ 4:16-19
ヨハネは記す。「愛には恐れがない。完全な愛は恐れを締め出します。」

2日（木）イザヤ 48:12-21
主がその民を導いて乾いた地を行かせるときも、彼らは渴くことがない。主は彼らのために、岩から水を流れ出させる。

3日（金）マタイ 5:17-37
イエスは言われた。「あなたが祭壇に供え物を献げようとし、兄弟が自分に反感を持っているのをそこで思い出したなら、その供え物を祭壇の前に置き、まず行って兄弟と仲直りをし、それから帰って来て、供え物を献げなさい。」

4日（土）イザヤ 43:18-21
主は言われる。「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。私は荒野に道を敷き、私の民は私の榮譽を語らねばならない。」

5日（日）マタイ 21:1-11
✝枝の主日
群集は、イエスの前に行く者も後に従う者も叫んだ。「ダビデの子にホサナ。主の名によって来られる方に、祝福があるように。いと高きところにホサナ。」

6日（月）マタイ 10:38-39
イエスは言われた。「自分の命を得ようとする者はそれを失い、わたしのために命を失う者は、かえってそれを得る。」

7日（火）2コリント 5:13-17
キリストはすべての人のために死んで下さいました。それは、生きている人たちが、もはや自分自身のために生きるのではなく、自分たちのために死んで復活して下さった方のために生きるためです。

8日（水）ヨハネ 12:20-30
イエスは言われた。「はっきり言うておく。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。」

9日（木）ヨハネ 16:20-22
✝聖木曜日
受難に向かわれる前に、イエスは弟子たちに言われた。「今はあなたがたも、悲しんでいる。しかし、わたしは再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶことになる。その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない。」

10日（金）マルコ 15:33-39
✝聖金曜日
十字架上で、イエスは大声で叫ばれた。「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか。」

11日（土）1ペトロ 3:18-22
✝聖土曜日
ペトロは記す。「キリストは、肉では死に渡されましたが、霊では生きる者とされたのです。そして、霊においてキリストは、捕らわれていた霊たちのところへ行って宣教されました。」

12日（日）ヨハネ 20:1-9
✝復活日
イエスの弟子は、空の墓に入った。彼は、見て、信じた。

13日（月）黙示録 3:7-8
復活されたキリストは言われる。「あなたは力が弱かったが、わたしの言葉を守ってきた。わたしはあなたの前に門を開いておいた。だれもこれを開めることはできない。」

14日（火）1コリント 15:12-22
パウロは記す。「死が一人の人によって来たのだから、死者の復活も一人の人によって来るのです。つまり、アダムによってすべての人が死ぬことになったように、キリストによってすべての人が生かされることになるのです。」

15日（水）ルカ 24:35-48
イエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。』」

16日（木）ヨハネ 6:37-40
イエスは言われた。「私をお遣わしになった方の御心とは、私に与えて下さった人を一人も失わないで、終わりの日に復活させることである。」

17日（金）サムエル下 22:17-20
主はわたしを力ある敵から救い出し、広いところに導き出してください。

18日（土）マルコ 9:17-29
その父親はイエスに叫んだ。「信じます。信仰のないわたしをお助けください。」

19日（日）ヨハネ 20:24-29
トマスはイエスに言った。「わたしの主、わたしの神よ。」イエスはお答えになった。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は幸いである。」

20日（月）イザヤ 6:1-8
天使はイザヤにこう告げた。「あなたの咎（とが）は取り去られ、罪は赦された。」そのとき、イザヤは主の御声を聞いた。「誰を遣わすべきか。」彼は答えた。「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください。」

21日（火）黙示録 7:9-17
ヨハネは記す。「わたしが見ていると、だれも数えきれないほどの大群衆が、あらゆる国民、言葉の違う民の中から集まった。そしてひれ伏し、神を礼拝した。」

22日（水）詩編 106:43-48
主よ、わたしたちを救い、諸国の中からわたしたちを集めてください。聖なる御名に感謝をささげさせてください。

23日（木）ルカ 21:5-19
イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたはわたしの名のために迫害を受けるだろう。だが、前もって弁明の準備をするまいと、心に決めなさい。わたしがあなたがたに言葉と知恵とを授けるからである。」

24日（金）1ペトロ 2:19-25
ペトロは記す。「苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、これこそ神の御心に適うことです。あなたがたが召されたのはこのためです。というのは、キリストもあなたがたのために苦しみを受け、その足跡に続くようにと、模範を残されたからです。」

25日（土）マルコ 16:15-20
✝福音記者聖マルコ日
イエスは弟子たちに言われた。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」

26日（日）ルカ 24:13-35
二人の弟子と一緒に食事の席に着いたとき、復活したキリストはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。

27日（月）1テサロニケ 5:4-11
パウロは記す。「神は、わたしたちを、主イエス・キリストによる救いにあずからせるように定められました。主は、わたしたちのために死なれましたが、それは、わたしたちが目覚めていても眠っていても、主と共に生きようになるためです。」

28日（火）黙示録 22:1-9
神の僕（しもべ）たちは神の御顔を仰ぎ見る。彼らの額には、神の名が記されている。もはや、夜はなく、ともし火の光も太陽の光も要らない。神である主が僕たちを照らされるからである。

29日（水）イザヤ 35:1-10
主は言われる。「そのとき、歩けなかった人が鹿のように躍り上がる。口の利けなかった人が喜び歌う。荒野に水が湧きいで、熱した砂地は湖となる。」

30日（木）サムエル上 12:20-24
主を畏れ、心を尽くし、まことをもって主に仕えなさい。主がいかに偉大なことをあなたたちに示されたかを悟りなさい。